

高齢者に関する防犯活動について

高齢化社会が進展している現在、高齢者には『健康』・『孤独』など、大きな不安を持たれる方が多いとも言われています。

そこで、一見防犯活動と関係なさそうな『健康づくり』や『悪質商法対策』を中心に、防犯活動と高齢者の不安の解消について取り上げてみました。

健康づくりと防犯活動について

まちづくり防犯グループでは、地域の実情に応じた様々な活動を行ってありますが、参加者確保の手段として、犬の散歩時に防犯パトロールを兼ねる『わんわんパトロール』や、健康づくりの『ウォーキング』と防犯パトロールを兼ねた活動をされています。

実際、防犯活動をされている方からは...

毎朝、子どもの見守り活動に参加しているおかげで、退職後も、規則正しい生活が送れています。



なかなか運動する機会がなかったのですが、今は防犯パトロールがよい運動の機会となっています。

といった声も、よく聞かれます。

防犯パトロールなどを行う主な目的は、もちろん『犯罪等の未然防止』ですが、これらの副次的な効果に着目すると、下記のような活動も考えられます。

防犯ウォーキング

パトロールのルート距離を予め計測しておき、日々のパトロール踏破距離を表に作成することで、これまでにパトロールでどれだけ歩いたかが一目で分かり、ウォーキングのやる気を高め、健康の保持増進につながる。

ラジオ体操を中心とした活動

メンバーが早朝のラジオ体操で集合し、地域の実情に応じて、ラジオ体操の終了後に、雑談・情報交換の場を設けたり、ゴミ収集などの環境美化活動、子どもの見守り活動などを実施する。

上記のような、健康づくりと防犯活動をミックスした活動を地域の実情に応じて展開すれば、活動の参加者の確保とともに、参加者の『健康』のみならず『孤独』の不安の解消にも役立つのではないのでしょうか。

悪質商法などに対する防犯活動について

悪質商法や振り込め詐欺などの犯罪は、年々その手口を巧妙化しており、特に独居の高齢者が狙われやすいといわれています。

積極的に地域住民相互の交流を図ることで『孤独』の不安を解消し、悪質商法などの被害も防ぎましょう。

地域全体でコミュニケーションを図りましょう！

独居高齢者が狙われやすい理由の一つに、『相談できる人がいない』というものがあります。

日頃から、地域全体でコミュニケーションを図ることで、万一被害に遭いそうになった時でも、本人が近隣住民に相談することにより、気付く可能性が高くなり、被害を未然に防止することができます。



情報を共有化しましょう！



常日頃から独居高齢者に『被害に遭いそうになった場合、すぐに連絡するよう』依頼しておくことで、防犯意識が向上するとともに、その情報を共有することにより、本人や近隣住民の被害の発生を防止することができます。また、情報のやりとりを通じて、自身も地域との繋がりを実感することもできます。

外観から悟られないようにしましょう！

悪質業者などは、事前に家の外観を下見することで高齢者世帯かどうかを判断することがあります。

『洗濯物を干すときは子どもの衣類も一緒に干す』

『幼児の三輪車などを見える場所に置いておく』

などの対策を取ることで、高齢者世帯であることを悪質業者などに悟られないようにしましょう。



一人で対応しないようにしましょう！

万一、強引なセールスマンなどが訪問してきた場合は、決して一人で対応せず、親族・近隣住民などに連絡して、複数で対応するようにしましょう。

また、こういった場合に、住民同士で気軽に連絡を取り合うことが出来るように、常日頃からコミュニケーションの醸成に努めましょう。



他にも高齢者の立寄りや周辺の掃除を手伝っているグループや、高齢者向けの携帯電話の取扱講習会を行っているグループもあり、このような活動が被害を防ぐとともに、地域住民の絆を深めるきっかけになると考えられます。